



## 地域住民自治協議会は…

区・自治会だけでなく、地域で活躍されているさまざまな団体がお互い連携しながら、今津地域を元気にし、活力あるまちづくりを行なうことを目的にしています。

みなさん、一人ひとりが主役の組織です。

発行 高島市今津地域住民自治協議会  
事務局 今津町中沼一丁目4番地1  
今津東コミュニティセンター  
(今津公民館)

TEL 090-4927-3222

メール info@imazu-jichikyo.org

# つながり実感 みんなが主役

## 令和4年度定期総会を開催しました。



議案審議後、賛成挙手する委員

分かれ活動をしていきます。令和4年度計画など詳しくは裏面をご覧ください。

また、皆さまからのさまざまなご意見をおまちしています。

5月8日(日)に今津東コミュニティセンター(今津公民館)で開催いたしました。岩本忠晴氏を議長に選出し、提出した全6議案すべて承認いただき、令和4年度事業がスタートしました。

今津地域住民自治協議会は、今津に住む皆さんが住み慣れた地域で暮らし、人と人とのつながりを大切にしながら、地域のことを自分たちで考え決めて実行するまちづくりを進めています。

本年度も皆さんとともに、さまざまな課題や地域の将来像を考え、3つの部会に



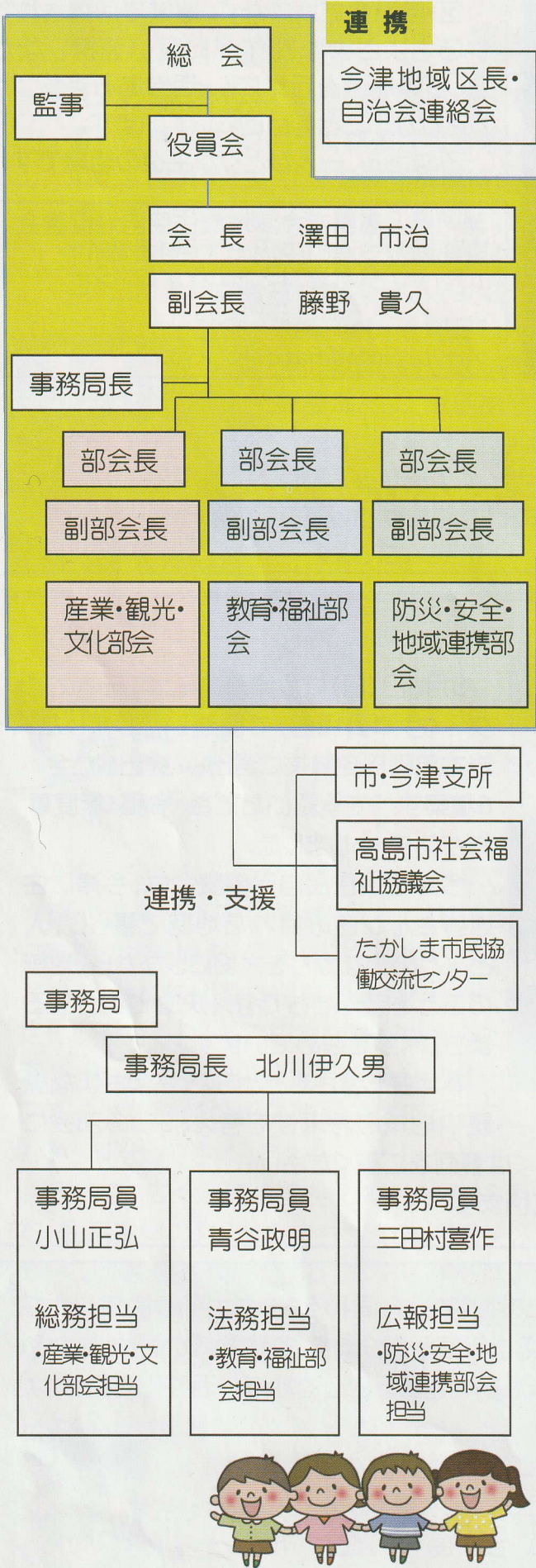
令和4年度は、令和3年11月に発足した本協議会が、愛称を「つなごろう今津」として皆さんとともに活動をすすめていく大切な年度となります。今津地域の区や自治会、各団体と連携し、ひとつひとつ具体的な活動を進めることで地域の活性化を旨ざしたいと考えています。

多くの方に「つなごろう今津」の活動に“かかわり”いただき、一緒にご参加いただき、ともにつながりましょう。よろしくお願いいたします。

会長 澤田 市治



【組織体制】



産業・観光・文化部会

《令和4年度主な事業》

- ・「三つの通り」の「愛称看板」を設置します。
- ・秋に「今津特産市」を開催します。
- ・今津地域全体の『ガイドマップ』を作成します。

残りたい、住みたい、帰ってきたい  
と思える魅力ある今津



・部会長 澤田市治  
・副部会長 藤野貴久

皆さんから多くの応募をいただきました「通り」の愛称を、「琵琶湖周航通り」「駅前ユリノキ通り」「江若鉄道記念通り」と決めさせていただきました。

さらに愛着をもってより広く知っていただくために、イラスト入りの「看板」を通りに設置することを計画しています。

また、今津を訪れる方々に今津の特産物を販売する「今津特産市」を秋に開催できるよう計画しています。

そして、人が集まる今津を創出するために、今津の潜在的な魅力をアピールできる「今津観光ガイドマップ」を作成します。



駅前通りに咲くユリノキの花(5月)

委員のみなさん

- |        |        |       |
|--------|--------|-------|
| 石田 与志雄 | 井上 佳郎  | 采野 哲  |
| 河原田 功  | 北川 伊久男 | 澤田 市治 |
| 角川 正将  | 鳥居 忠晃  | 鳥居 保典 |
| 深田 源蔵  | 藤戸 清隆  | 藤野 貴久 |
| 堀井 陽一  | 山口 知之  |       |

(五十音順・敬称略)

## 教育・福祉部会

### 《令和4年度主な事業》

- Base 子ども活動事業
- 「琵琶湖周航通り」の花づくり支援事業
- 今津ガイド養成講座

### 人と人のつながりづくり



- 部長 小林忠伸
- 副部長 岩本忠晴

Base 子ども活動事業は、子どもの健全な育成を願い、地域の集会所を拠点として、地域の人々、老人会、学区民会議、民生委員・児童委員、大学生、指導委員等の支援・協力を得て、子ども活動を指導・支援します。今年度はモデル地域で開催します。

また、「琵琶湖周航通り」の花づくり支援事業として、今津駅から今津港までの通りの花づくりに努めておられるボランティア団体等を支援・協力します。

今津には、歴史遺産や観光資源が多く存在していますが、その魅力が町民や訪問者に伝わっていないことから、案内するガイドを養成し、今津の魅力を発信します。



### 委員のみなさん

- |        |            |
|--------|------------|
| 岩本 忠晴  | 小川 二三子     |
| 河原田 良明 | 小林 忠伸      |
| 杉嶋 郁夫  | 中村 敏子      |
| 森井 良磨  | (五十音順・敬称略) |

## 防災・安全・地域連携部会

### 《令和4年度主な事業》

- ごみの分別、ごみ出しのマナー啓発
- 今津の自然を守る事業
- 広報誌発行

### 安心・安全に暮らせる仕組みづくり



- 部長 山口茂和
- 副部長 岩館美晴

日常生活や災害時など、課題は多岐にわたりますが、まず住みやすい生活環境づくりを基本にすすめます。

まず、ゲーム感覚で子どもや大人でゴミ集めと分別大会を開きます。また、ゴミ出しマナーや誰でも判る分別啓発をおこないます。

自然環境を守るため、中学生や地域とともに外来特定植物などの駆除を行い、子どもたちに今津の自然の素晴らしさを伝えます。

また、地域と連携し、避難所の開設など広域防災訓練を計画します。

より親しみやすく、より判りやすくをコンセプトに、年4回の広報誌「つながろう今津」を発行します。



### 委員のみなさん

- |        |            |
|--------|------------|
| 石田 清隆  | 岩館 美晴      |
| 笠原 米和  | 栗田 紗希      |
| 是永 宙   | 早川 浩徳      |
| 三田村 喜廣 | 森本 朋子      |
| 山口 茂和  | (五十音順・敬称略) |

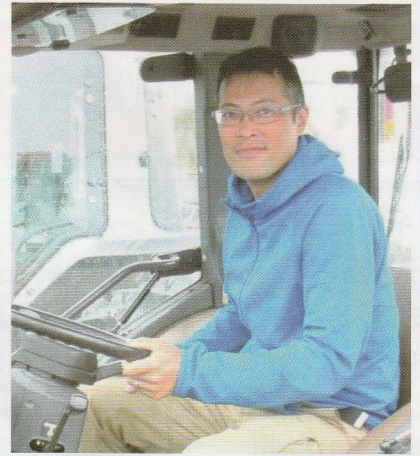


# いまづ まちなか 探訪記

第1回

## うねの農園

うねの さとし  
采野 哲さん



### 楽しく農業しないと誰もついてこない

優れた農業経営を行い、新規就農者等の育成に指導的役割を果たす農業者として「滋賀県指導農業士」に選ばれた。「新規就農者も大事だが、今、農業に真剣に取り組む若い農業者が、将来も続けていけるように、肥料や資材が高くなり厳しい現実だが、地域の農業・農地を守るためにも頑張りたい」と話す。



従業員2人を雇用し、水稻 17畝、大麦 10畝、大豆20畝、野菜などを栽培。水稻有機 JAS 認証 2畝、無農薬・無化学肥料 2.5畝にも取り組む。農業委員としても活動する。

今年、今津町では19年ぶりに宮中行事の新嘗祭献穀献納者に父親の哲平さんが選ばれ、5月には行事の一つ「お田植祭」で県が開発・育成した環境こだわり近江米「みずかがみ」を5人の早乙女が手植えた。



## 新たな住民自治組織って～なに？

「子どもや若い人が」少なくなり、今までの行事や将来が不安」「空き家やひとり暮らしの高齢の方も増え、防災や防犯面でも大丈夫かな」「行事や活動など参加者が少なく、固定化している」などの切実な声があがっています。近年、行政による画一的な公共サービスでは地域課題の解決や要望に応えることが難しくなってきました。

そこで、広く地域の実態にあわせた活動を、住民主体の「協働のまちづくり」で解決していこうとするものです。地域の皆さんや子ども会、高齢者クラブなどの多くの団体とつながり、互いに連携、協力して課題解決のアイデアや活動の広がりの中で、安心して暮らせる地域の実現をめざす組織が「新たな住民自治組織」です。

地域に根ざした、ひと・まち・あしたをつなぐ活動をすすめます。

## 知っ **てる** 街ネタ



今年も見事に咲きました  
浜分の花しようぶ  
花菖蒲だけでなくメダカ  
やタガメなど保護育成にも  
取り組まれています

「通り」名称にご応募いただきました皆さま多くのご応募をありがとうございました。後日、採用された方に記念品を贈呈いたします。申し訳ございませんが、しばらくお待ちください。



### 編集後記

梅雨空を眺めながら、青空の夏を思い浮かべ、いよいよ活動が本格化してきます。第3号は、総会を経て体制や活動をお知らせいたしました。ご参加をお待ちいたしております。